

High♥Line Wakabayashi はいらいん若林

みんなでここさ

入らいん！

若林区まちづくり協議会会報

2024.3.1

Vol.27



- ① なないろの里付近2008年(平成20年)撮影
- ② なないろの里付近2019年(平成31年)撮影
- ③ 蒲町小学校
- ④ 荒井西3号公園(なないろの里二丁目)
- ⑤ 多世代複合施設案内板
- ⑥ 多世代複合施設のヤギ
- ⑦ 谷風の墓所
- ⑧ 浪分神社

『なないろの里』は、市営地下鉄東西線、六丁の目駅から南へ徒歩15分ほどの所に位置します。実は、東日本大震災の集団移転先のひとつとして住宅が建ち始めたのが、現在のなないろの里二丁目地区です。

その後、新興住宅地としてなないろの里一丁目・三丁目分譲されて、新たなファミリー層が増え、児童数も増加して、蒲町小学校は若林区内で一番大きな小学校となりました。住宅街の中には6つの公園も整備され、子どもたちの声が明るく響いています。加えて、スーパーや大型家電量販店、ドラッグストアなども次々とオープンし、医療モールや美容室なども増え、今なお発展を続けています。

また、地域内にある多世代複合施設では、高齢者住宅や就労支援施設、保育園、食堂や駄菓子屋等が、一か所にまとまり、多くの年代の交流の場としても活気に溢れています。2匹のヤギがお出迎えしてくれて、週末には子どもたちがエサやりを楽しむ姿も見られます。

さらに、近い将来、六丁の目交差点付近に大型商業施設の建設予定もあり、若林区内でも勢いのある地域と言えるでしょう。

このように、それぞれの施設とのつながりも濃く、昔ながらの良さと利便性の良さを持ち合わせている地域と言えます。これから発展が楽しみです。

また、霞目駐屯地も、歴史を振り返ると、仙台飛行場として1933年(昭和8年)に完成したものの、太平洋戦争中の1944年(昭和19年)に、陸軍の管轄下に移り、終戦後は、米軍に接収されましたが、1957年(昭和32年)には現在の陸上自衛隊霞目駐屯地となった経緯があります。コロナ禍を経て、今年度は数年ぶりに、周辺町内会連絡協議会との共催で夏祭りが開催され、駐屯地内が一般開放されました。

若林区探訪 その13

『なないろの里』と聞いて、皆さんはどの辺りかご存知でしょうか？数年前まで、蒲町小学校を取り囲むように豊かな田園地帯が広がっていたエリアです。『なないろの里』と呼ばれるようになったのは、平成30年。そんな新しい街と歴史ある霞目地区を歩いてみました。

霞目地区「なないろの里」ってどんなところ？

谷風「の墓所もあります。そして、東日本大震災で話題になった「浪分神社」が、駐屯地の東側にあり、慶長三陸地震(1611年)で発生した大津波が二つに分かれ、波が引いた所に遷座し、社殿を建てて現在に至っています。

仙台弁の「入らいん(お入りください)」に英語のhigh(ハイ・高い)とline(ライン・路線、進路などの意)とをかきあわせた造語です。温かさより高いレベルをめざそうという気持ちが込められています。

会報の愛称 「はいらいん若林」とは

地域の問題

若林区の職人さん



◆職人の〈魂〉 田村 政孝さん◆
『竿政』／若林区南鍛冶町

仙台の夏の風物詩のひとつ。竿の曲がる支点がふわりとしなやかで、魚と戦わずスッと釣ることができるとして、釣り人垂涎の逸品となりました。しかし、それにふさわしい竹を見つけれなければならず、何年も待つてもらうことがあるそうです。

竿に漆を塗るのは、雨や雪が降ってもいつでも使えるようにとのことで、その装飾も、知恵と工夫を凝らした素晴らしいものがあります。「なんでも自分で考えて作ってみる」という精神で、竿のほかにも、茶道具や万年筆、アクセサリにも挑戦し、その技術をいろいろなものに昇華させています。

田村さんは、昭和7年生まれ。腕の良い職人であった父の仕事場を遊び場として育ちました。「門前の小僧」の政孝少年は、戦時中に軍事工場に動員されていた父の代わりにつくった竿が大変な評判となり、「天才」と呼ばれるようになります。少年は、寝る間も惜しんで働く父を見て、「父親に楽をさせたい」と強く思ったそうです。

伊達なお殿様の「遊びの文化」を今に伝える田村さん。全国から弟子入り希望があるそうですが、「呼吸の合わない人とは作れない」と、きっぱり断る潔さ。妥協を許さない頑固な職人氣質としなやかな感性で、これからの創造の翼を広げていかれることでしょう。

仙台竿は、伊達政宗公の時代から伝わるのですが、今では田村さんが唯一の継承者となってしまうまい。200もの工程を経て仕上げられる継ぎ竿は、まるで一本のようになしなやかさです。これは、職人の意地で作り上げたものなのか。「継ぎ竿は使い物にならない」と言われたが、何があってもやってやる、と思ったのじゃ。」それが



手製の道具



仙台竿

震災の記録を残す

海岸公園冒険広場(若林区井土)



東日本大震災の津波によって、若林区沿岸部は甚大な被害を受けました。そんな中で、奇跡的に波がよけていった公園があります。震災前から子どもたちの声が響き渡っていた「海岸公園冒険広場」(ぼうひろ)です。周辺の復旧復興のために、公園の再開には7年4ヶ月を要しましたが、その間も「子どもたちの心のケア」「新しい地域づくり」のために奔走してきました。

令和5年春に、震災直後の様子から、再開、そして、現在に至るまでをまとめた『冒険あそび場から見えてきたもの』(東日本大震災から10年の記録)を発行しました。仙台市各区図書館でご覧いただけます。

津波到来時に命を救った丘は「避難の丘」として整備され、公園には、震災の記録を残すものが保存されています。震災を知る・学ぶ場としても、ぜひ公園にお越しください。

認定NPO法人 冒険あそび場・せんだい・みやぎネットワーク
代表理事 佐藤慎也

若林区まちづくり協議会
事務局
若林区役所まちづくり推進課内
〒984-8601 若林区保春院前丁3-1
TEL 282-1111

会報プロジェクトメンバー

勝又久雄
西條芳郎
志子田喜恵
菅原まゆみ
林克恵
米倉正子

第40回 全国都市緑化仙台フェア

令和5年4月26日から6月18日にかけて行われた「第40回全国都市緑化仙台フェア」の東部エリア会場に、若林区の6カ所(せんだい農業園芸センターみどりの杜、せんだい3・11メモリアル交流館、震災遺構仙台市立荒浜小学校、海岸公園センターハウス、同馬術冒険広場、同馬術場)が選定され、震災からの復興や緑の再生への取り組みなどを、全国の方々に体感していただきました。



これから、震災という悲劇を受け止めながらも前に進んでいく若林区の姿を発信していきたいですね。

初めて関わらせていただきましたが、まだまだ知らない若林区に触れることができ、紙面ではご紹介できなかった皆さんの情報も知ることができました。霞目駐屯地が飛行場だったことや、霞目城や沖野城があったことなども、ご存じの方は少ないかもしれませんが。そのような歴史情報と共に、皆が参加したくなるようなイベント情報もご紹介していきたいと思いました。会報の編集は誰でも参加できますので、皆さんも一緒に掘りさげてみませんか？新しい若林区に出会えるかもしれません。(林)

若林区まちづくり協議会 まちづくり活動表彰

平成29年に、遠見塚地区の六つの町内会が連携し、高齢者の健康づくりと親睦を目的にして立ち上げた「遠見塚香香体操サロン」。そのサロンの介護予防体操の講師を、当初から無償で務められて6年が経過し、実施回数は70回にも及びます。現在は、遠見塚コミュニティセンターを会場に、毎月1回1時間、昼の時間帯を利用して活動されています。優しく朗らかな指導はいつも大好評で、顔が見える地域コミュニティの活性化を目指すサロンの、大きな力となっています。



個人の部

成田 博昭氏(なりた接骨院 院長)
金野 誠氏(なりた接骨院)

若林区まちづくり協議会は、区民一人ひとりの創意と参加により、住みよい魅力のあるまち若林区を目指し、行政と協働によるまちづくりの推進を目的としています。(定款より)

今年度の総会は、5月10日に、せんだい農業園芸センター研修室で行われました。議事は満場異議なく承認されて、令和5年度の活動がスタートしました。

なお、「第2回まちづくり活動表彰」に選出された方々の表彰式も行い、そのご活躍を讃えました。表彰された方々については、左記をご覧ください。

若林区まちづくり協議会 総会

若林わくドキ!! まち歩き



令和5年度も、3回のまち歩きを行いました。

① 4月15日(土) *新寺こみちを歩く
② 6月10日(土) *今昔・南染師町を巡る
③ 9月30日(土) *貞山堀の昔とこれから

参加者は、市政だよりで募集していますが、いずれも定員20名のところ、たくさんの方の応募があり、毎回抽選となりました。区外からの参加者も多く、若林区の魅力が広く発信することができ、事業となっています。

ラチオはいらいん若林



7月・翌3月の毎週土曜日に放送されている、若林区の魅力発信している番組です。

インタビューするのもされるのも同じ若林区民で、意外と知られていない地域の話題や名物、まちの有名人などを紹介しています。今となっては貴重な方言や、生活の知恵などを、「音」として残すのも大事な役割と言えます。

毎年大活躍の「子ども記者(小学生)を始め、今年度は東北学院大学の学生さんたちも、お祭りや専門店への取材に挑戦しました。

年齢に関係なく、多世代で作り上げる番組を、ぜひお楽しみください。

団体の部

一般社団法人 荒井タウンマネジメント

仙台市の住民参画・問題解決型学習推進事業の一環として、東日本大震災後の平成26年に発足。代表は、東六郷小学校同窓会会長の大内文春氏で、震災による甚大な被害を受けた六郷東部地区の方々に主に対象として、震災復興、にぎわいの再生、人々の交流、伝承と発信などをテーマに、地域に密着した活動を続けています。とりわけ、冬に企画される「鎮魂の花火」は、今年で9回目を迎えるに至り、他にも「夏季イベント」や、独自商品の「仙台・絆サイダー」の販売など、豊かなアイディアで、創造的なまちづくり活動を展開させています。



前身は「荒井東まちづくり協議会」。「面田んぼのエリアを市街地に」をテーマに、まちづくり計画を長期間に渡って進め、震災後は、防災・減災の新たな方針を加えて、「新組織「荒井タウンマネジメント」を設立し、計画から実行へと、事業の実現化を目指して活動を展開してきました。

現在は、仙台市から「都市再生推進法人」の指定を受け、行政と協働体制を築きながら、コミュニティ形成事業、にぎわい創出事業、官民連携事業などの五つの事業を推進していますが、さらに「仙台海手」の発信など、まちづくりへの新たな挑戦は続いています。

令和5年度 活動報告

新型「コロナウイルス」が5類に移行され、制限が穏やかになってきました。当協議会の活動も、ほぼ例年通りに行われ、どの事業も活気にあふれるものとなりました。

第35回 若林区民ふるさとまつり

11月5日、「第35回若林区民ふるさとまつり」の会場には大勢の人たちの笑顔が溢れて、まさに今年のタイトル通りの「元気にいこう、わかばやし!」そのものの雰囲気。

今年も、ステージでの各演技や弟子入り体験、出店、4年ぶりに開催されたフリーマーケット等で賑わっていました。特に若林消防団の階子乗りでは、演技が決まるたびに驚嘆の声と拍手が沸いていました。

また、初となる宮城県警察音楽隊の演奏にも、惜しみない拍手が送られていました。

今回も、若林区の文化、産業、人の多様性を感じることのできる楽しい一日となりました。



「第35回若林区民ふるさとまつり」にお越しいただきありがとうございました。昨年までは、コロナ禍の影響で制約がある環境下の開催でしたが、本年は、2019年以来4年ぶりとなる通常開催で皆様をお迎えすることができました。ここに至るまで様々な課題はありましたが、安心安全に開催できたことを非常に嬉しく思います。

当日はあいにくの曇り空ではありましたが、テーマ「元気にいこう、わかばやし!」を掲げ、活気のあるまつりにするために、ブースの増設、アトラクションの追加、体験教室の拡充などを試みました。ご来場くださった皆様にはご満足いただけたものと考えています。

開催するにあたり、実行委員会やたくさんのボランティアの方々、若林区職員の皆様など、関係各所からご理解ご協力をいただきました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。これからも精進し、来年もお会いできることを楽しみにしています。ありがとうございました。

若林区民ふるさとまつり実行委員長 日下利治

若林区合唱のつどい



毎年7月の第1土曜日に開催してきました「若林区合唱のつどい」は、お陰様で30回を迎えることができました。今年は、聖和学園高等学校薬師堂キャンパスのサールナートホールをお借りしての開催となりました。

「ありがとう30回」と題した今回は、若林区長の指揮による「たなばたさま」に始まり、15の参加団体のステージや、聖和学園高等学校チアリーディング部と吹奏楽部による、素敵なパフォーマンスと演奏が披露されました。

また、30回記念ということでも、その長い年月をずっと寄り添ってきてくださったお二人の先生に、曲を選んでいただきました。

さきに、満20歳になった「合唱連盟わかばやし」

スポ・レク・フェスタ実行委員会

スポ・レク・フェスタ実行委員会は、若林区民ふるさとまつり実行委員会の一つの班として、活動しています。ふるさとまつりでは、リサイクルステーションを担当し、ごみの分別・減量化・減容化に努めています。「スポ・レク・フェスタ2023」では、小中学生対象の種目は令和元年度と変わりなく、多くの人が参加しました。大人対象の種目に関しては、



コロナ禍のプランクが影響して、参加する人が減少傾向でした。令和6年は、今年以上の人・チームに参加してもらえよう、各競技団体に働きかけていきたいと思っています。

スポ・レク・フェスタ班 班長 堀江新一郎

のみんなが歌えたことは、とても感慨深いものでした。

さらに、昨午声に出して歌うことがなかなかできなかった、プログラム最後の全体合唱も、マスク越しながらも会場全体で歌うことができ、感動の渦の中、無事終えることができました。

長きにわたり、連盟を支え、応援してくださった先輩方と仲間たちに感謝し、来年へと気持ちを新たに頑張っていきたいと思います。皆さんも仲間になりませんか。お待ちしております。

若林区合唱のつどい実行委員会 役員一同



※インターネットで放送を聴くこともできます。(リスラジまたはラジオ3ホームページ)

令和6年度 若林区まちづくり協議会の行事予定			
4月5日	役員会・総会	8月5日	若林区 スポ・レク・フェスタ
7月	若林区合唱のつどい	10月	若林区民ふるさとまつり (第3日曜日)
7月15日	76.2MHz ラジオ3にて 第1~4土曜日の 午前10時~ 「ラチオはいらいん若林」放送	2月	若林区 まちづくり交流会
		3月	会報「はいらいん若林 (vol.28)」発行

※詳しくは「市政だより」「若林区ホームページ」等でご案内いたします。
<http://www.city.sendai.jp/waka-katsudo/wakabayashiku/machizukuri/kyogikai/index.html>

